

平成30年度那覇市一般会計予算案について

はいたい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

本日は、平成30年度的那覇市一般会計予算案の概要につきまして、市民の皆様にご報告いたします。

平成30年度の予算は、最重要課題であるこども政策分野や経済振興政策の充実のほか、老朽化した公共施設の更新や社会保障費の増など、喫緊の諸課題に的確に対処する予算編成を行いました。

予算規模は、1,475億7,100万円と、前年度に比べ43億1,100万円となり、3.0%の増となっています。

まず、市政運営の1丁目1番地に位置付けるこども政策分野につきましては、本市独自の給付型奨学金を創設し、成績優秀で意欲があるにも関わらず、経済的な理由で県内大学等への進学が困難な学生を対象に、就学を支援してまいります。

また、待機児童対策として保育所の創設などに引き続き取組むとともに、新たに潜在保育士の就職支援や放課後児童支援員の賃金改善を行うなど、制度の充実・強化を図ります。

つぎに、市政運営の2丁目1番地に位置付けて「稼ぐ力」を実践する経済振興政策につきましても、引き続き、広報紙「なはけいざい MAGAZINE (マガジン)」により、地域産業やビジネス分野で活躍する人材等に関する情報発信を行います。さらに、観光誘客やマチグッー支援、創業・就職支援や、農業・水産業への補助など、既存事業の拡充はもとより、新規事業の実施を積極的に行ってまいります。

公共施設の更新などについては、学校施設におけるトイレの洋式化や遊具の改修を進めるとともに、学校校舎や市営住宅の建替、公園・道路の整備なども継続し、実施してまいります。

平成30年度は、いよいよ、向こう10年の羅針盤となる「第5次那覇市総合計画」がスタートします。計画に掲げる、5つの「めざすまちの姿」の実現に向けて、施策に力強く取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続き本市の市政運営に対するご理解とご協力を賜りますよう、ゆたさるぐとう うにげーさびら。

平成30年2月7日

那覇市長 城間 幹子